

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ウエルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・事業所 の特徴	家訓「あるがままに 楽しく ゆったりと」のもと、小規模で多機能なサービス提供を心がけ、細やかな対応を実践している。登録定員 29 名の内 1 日 15 名が通い、小規模である特徴を生かし、利用される方がこれまでの地域との繋がりを無くさず、習い事や地域のサロンなどを継続できるように支援している。また、顔の変わらないケアが生かされ、地域に出た時に相談や要望が出るような関係性も出来ている。認知症になっても本人が望む暮らしが可能な限り継続され、家族・地域・事業所が協力をして、本人の安心した暮らしが継続できるように、今後もサービス提供を行っていく。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 さわやか憩いの家二日市	管理者	大塚 裕輔		

	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	3 人	0 人	1 人	1 人	0 人	7 人	0 人	14 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・改善計画をスタッフルームの分かりやすい所に張り出し、実行する。	・スタッフルームの扉に改善計画を張り出し、いつでも目にする状況を作り改善計画を実施した。		・改善計画の張り出しは継続して行い、意識して取り組めるように計画を立てて実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域運営推進会議で声かけをし、行事にお誘いをする。	・事業所内で感染症があり、地域に向けての喫茶いこいへの案内ができなかった。	・職員の皆さんの印象が良く、それが一番入りやすい理由だと思います。 ・壁の装飾などがきれいで明るい雰囲気になっていました。 ・事業所内も外もとてもきれいでした。	・地域運営推進会議で声かけをし、喫茶いこいなど行事にお誘いし気軽に入れる事業所にする。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域行事には積極的に利用者さんと一緒に参加をする。買い物やお散歩などで地域の方に会った時には挨拶を行う。	・地域の夏祭りや桜祭り、敬老会や初詣など利用者さんと参加を行った。	・地域の祭りやいきいきサロン、敬老会に参加していました。	・公民館で行事予定を聞く、また地域との交流ができるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・各利用者さんの地域の民生委員さんを把握する。 ・利用者さんに関わりのある方をアセスメントシートに記入していく。	・新規利用の時など民生委員さんに挨拶に行き、情報の共有を行った。	・普段から菅原神社などでお散歩されている姿を見かけています。	・地域での催し物の案内があった時は利用者さんと参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・事業所の報告は写真を使い分かりやすく報告をする。	・研修報告の時にパワーポイント、事業所報告の時に毎月の新聞を用いて報告を行った。		・利用者のサービス内容についても地域に発信し理解してもらう。
F. 事業所の防災・災害対策	・今年度は5月と11月に地域の防災訓練があるので、参加する。	・11月の地域の防災訓練に参加を行った。推進会議の中でも区長さんより地域の防災面など説明があり参考になっている。	・事業所の防災訓練の時は、公民館から役員が行くことができます。	・地域の方に事業所の防災訓練参加の案内を行う。地域の防災訓練への参加の継続を行う。

